

みえの経済

MIENOKEIZAI

伊勢の横輪いも推進協議会

設立総会 趣意書締結式



岡村

鈴木
伊勢市長

趣意書に署名した（左から）岡澤執行役員、鈴木健一市長、上田会長ら＝伊勢市岩渕の市観光文化会館で

“横輪いも”生産増へ

住民、企業、行政
で推進協議設立

イオンで販路拡大も

伊勢

【伊勢】伊勢市横輪町の住民でつくる横輪町活性化委員会（上田和夫会長）とイオンリテール（本社・千葉市、梅本和典社長）、伊勢市岩渕の市観光文化会館で、「伊勢の横輪いも推進協議会」の設立総会と設立趣意書締結式を開いた。四

者で協力し、横輪町特産の山芋「横輪いも」の生産や販売の拡大を目指す。横輪いもは、おろすと餅のように粘り、地元では昭和初期に九州から種芋が伝わって以来、ご飯やみそ汁と混ぜた「いも汁」で食されてきた。町内の交流施設「郷の恵『風輪』」で販売

され、平成二十二年度には県の「三重のバイオトレジャー」選定を受けて、地域ブランドに育てる機運が高まったが、品質が生産者ごとにはばらばらで、寒さに弱い性質のため貯蔵方法の確立も課題となっている。そこで同協議会を設置し、県が技術面で支援して品質や生産量の向上を目指し、イオンリテールやイオングループのスーパーなど

で、販路を拡大していくこととなった。第一歩として、十二月ごろからイオン伊勢店（同市桶部町）での販売を予定している。

締結式には鈴木健一市長も出席し、四者の代表が趣意書に署名を交わした。上田会長は、「これまでは自家消費に栽培してきたが、生産の維持や拡大に向けて責任をひしひしと感じる」とあいさつ。

岡澤正章イオンリテール執行役員は、「横輪町の知名度が向上し、地域活性化に少しでもお役に立てれば」と語った。